



2022年10月上旬刊 【歴史（琉球史）】

琉球建国史の謎を追って

——交易社会と倭寇



吉成直樹 [元法政大学沖縄文化研究所教授／地理学・民俗学] = 著

定価：本体 2000円 [税別] / 四六判並製 / 208頁

目次

- 1 グスク時代以前
- 2 城久遺跡群の衝撃とグスク時代の幕開け
- 3 交易ネットワークの形成と変容——交易社会への躍動
- 4 大型グスクの造営過程
- 5 交易者たちの国家形成——倭寇の時代
- 6 「三山」の関係と性格
- 7 三山の統一と思紹、尚巴志の出自
- 8 十五～十六世紀の日琉関係

琉球王国はどのように始まったのか？

14～15世紀初頭の沖縄は「三山鼎立時代」と呼ばれ、石垣をもつ大型グスクを拠点とする按司（豪族）たちがしのぎを削っていました。そこに突然現れ、次々と按司を倒し、琉球王朝を打ち立てたのが思紹、尚巴志父子です。日本本土様式の山城を築き、日本刀にまつわる伝承をもつこの父子は何者だったのでしょうか？

沖縄の内部発展によって王朝が発生したという通説に挑み続けてきた著者が、これまでの著作を要約し、新説を加えてコンパクトにまとめた決定版の一冊！

株式会社 七月社

☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

帳合・番線	注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385
		吉成直樹=著 琉球建国史の謎を追って——交易社会と倭寇 四六判並製 / 208頁 / 本体 2000円 / ISBN978-4-909544-27-8 C0021

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い
* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です